

新型コロナウイルス感染症相談窓口

感染症法上の位置付けが5類に移行した後の対応については、本紙5月号を参照してください。

発熱等の症状がある人の相談

まずは、かかりつけ医に電話で相談してください。医療機関が休みのときやかかりつけ医のいない人は、「きょうと新型コロナウイルス医療相談センター」に相談してください。

・同センター

☎075(414)5487、☎075(414)5990
メール coronasoudan@pref.kyoto.lg.jp
受付時間：24時間対応

陽性者の症状悪化時の相談

・府療養者相談ダイヤル ☎075(708)7159
受付時間：24時間対応

ワクチンの副反応等に関すること

・府コロナワクチン副反応相談センター
☎075(414)5490、☎075(708)3744
メール coronavaccine-call@pref.kyoto.lg.jp
受付時間：午前9時～午後6時

ワクチン接種の予約・問い合わせ

・市新型コロナウイルス接種コールセンター
☎(42)0020、☎(42)5488
受付時間：平日午前8時45分～午後5時15分

「綾部市図書館の思い出」展示会

8月27日(日)まで

皆さんの思い出を新図書館へ！カウンターで配布する桜の紙に現図書館の「良い思い出」を書いてください。

8月27日(日)

人形劇
「だるまちゃんとてんぐちゃん」
など



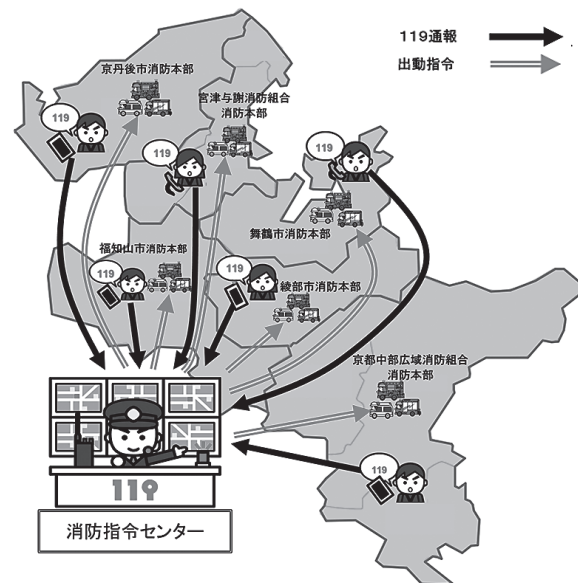
見本付きキット
「おばけモビールを作ろう！」を配布！
※先着100人

時間：午前11時～

※定員70人。8月1日(火)から図書館で配布するチケットが必要。電話予約もできます。

図書館は8月28日(月)に休館します。図書の返却は9月10日(日)までに。返却ポストへの返却も可能です。

<問い合わせ> 図書館 ☎(42)6980、☎(42)4570



本市を含む府中・北部地域の6消防本部は令和6年度から、119番通報などを受ける消防指令業務の共同運用を開始します。近年の激甚化、大規模化する災害に対応できるよう、広域的な応援体制を構築します。(記事ID3064)

共同消防指令センターの運用が始まります

令和6年4月から

情けは人のためならず



表題の意味については二通りの説がある。「人に情けをかけて助けてやることは、結局はその人のためにならない」という解釈と、「人に情けをかけておくと、巡って巡って結局は自分のためになる」という採り方。正しいのは後者だが、両説は真逆の解釈であるため要注意。とはいえ、報いを期待して他者に善行を施すというのはいかにもものである。『わらしべ長者』でもあるまいし、報いがあつたとしても結果論といえよう。

先日、故中村哲医師を現地で長年にわたって支えた看護師、藤田千代子さんの講演を聴く機会があった。故人はアフガニスタンで医療や開拓など人道支援に貢献。水があれば多くの病氣や貧困、難民問題を解決できるとして、医師

山崎善也(綾部市長)

共同消防指令センターを構成する消防本部(市町)

- ・綾部市消防本部(綾部市)
- ・福知山市消防本部(福知山市)
- ・舞鶴市消防本部(舞鶴市)
- ・京丹後市消防本部(京丹後市)
- ・京都中部広域消防組合消防本部(亀岡市・南丹市・京丹波町)
- ・宮津与謝消防組合消防本部(宮津市・伊根町・与謝野町)

共同消防指令センターの設置場所

福知山市消防防災センター2階
(福知山市東羽合町46番地の1)



共同消防指令センターには、構成消防本部から派遣された職員が勤務します。

情報を集約し災害対応を強化
6消防本部は現在、それぞれの消防指令センターで119番通報を受けて災害発生場所を把握し、消防車や救急車の出動を指示しています。こうした消防指令業務を、1カ所の指令センターに集約。情報の一括管理と指揮命令系統の統一により、隣接する地域の災害にも、迅速に連携して対応できるようになります。

共同運用は令和6年4月1日に開始。なお、令和6年2月から順次、各消防本部の119番回線を共同消防指令センターに切り替え、仮運用を行う予定です。詳しくは消防本部☎(42)0119へ。

共同消防指令センターQ&A

Q 119番通報を受信する区域が広がりますが、場所の特定はすぐにできますか。

A 共同消防指令センターには、最新のシステムを導入します。システムに備わっている高性能な検索機能により、瞬時に通報場所の特定が可能です。

Q 消防車や救急車はどこから出動しますか。

A これまでどおり、各市町を管轄する消防署から出動します(市内は、市消防署と上林出張所から出動します)。

令和5年河川功労者表彰を受賞

東綾小中一貫校=写真上=と上林小・中一貫校=写真下=が6月5日、日本河川協会から河川の自然保護などの活動に功績のあった団体に贈られる河川功労者表彰を受賞。学校や地域で河川の大切さを伝えてきた両校の取り組みが評価されました。

東綾小中一貫校は小学4年生が、上林小・中一貫校は小学4年生と7年生(中学1年生)が「上林川を守る会」などの協力で、15年以上にわたり上林川の水生生物調査を実施。調査の成果は学習発表会や文化祭で地域住民に披露し、清流を守る意識を広めます。

両校の児童・生徒は「みんなの頑張りが認められてうれしい」「川遊びで友達と打ち解けられた。これからも美しい川を守りたい」と受賞を喜びました。



願い事かなうといいな

観光協会(平野正明会長)は6月30日、駅前通りの観光案内所を訪れる人に夏の雰囲気を楽しんでもらおうと「あやべ観光案内所七夕交流会」を開催。綾部保育園の5歳児15人が「おはなやさんになりたい」「りょうりをつくるひとになりたい」「かめんらいだーになりたい」などの願いを込めた色とりどりの短冊をササに飾り付けた後、童謡「たなばたさま」を元気よく合唱しました。

卓球・大島祐哉選手が母校で講演



プロ卓球選手の大島祐哉さんが6月30日、母校の豊里中学校を訪れ全校生徒94人に向けて講演しました。前半は、大島選手と兄の将樹さんによるラリーの実演のほか、生徒代表が模擬試合を体験。後半の生徒からの質問コーナーでは「夢をかなえるために大切なこと、今できることはありますか」の問いに、大島選手は「目標



を決め、それに向かって100%の努力をすること。まずは小さな目標を設定し、一つずつクリアしていく積み重ねが大事」とアドバイスしました。

足育に！ヨガに！ 親子の健康づくりを応援



市はこのほど、「子育て親子健康づくり事業」を開始しました。来年2月18日まで、親子の健康づくりをサポートする講座などを水夢に委託して行っています。生後2カ月から小学6年生までの子どもとその保護者が対象で、参加は無料。運動不足の解消や親子の交流の機会にぜひご利用ください。

申し込みはこちらから▶





6/18 英語リトミック ～Happy! Music and English♪～

ピアノの生演奏と英語の声掛けに合わせて体を動かす「リトミック」の講座。親子一緒に遊びながら英語に親しめます。





6/25 足育子ども運動塾

子どもの健やかな成長に必要な足を育てる「足育」を学ぶ教室です。この日は足のマッサージや、足の指でグー・チョキ・パーのじゃんけんをする体操などを実践。運動の土台となる足裏を鍛える方法を体験しました。





お化けに
変身したよ!

英語リトミックは初めてです。子どもが英語に触れる良い機会になりました。私も一緒に体を動かして楽しめました。

豊田嵩さん、
千夏ちゃん



参加者の声

初めて聞く足育の話。知らないことが多く、足の大切さが分かりとても勉強になりました。今後も子どもと一緒にできることを続けていきたいです。

片足ケンケンで前に跳ぶ運動が楽しかった!

松下里香さん、湊くん





みんなの おうち太 陽光

本共同購入事業は京都府・京都市とアイチューザが協定を締結して実施しています

＜問い合わせ＞
京都みんなのおうちに太陽光事務局
☎0120(623)100 平日午前10時～午後6時

エアコンなどの電気代が気になるこの頃、再生可能エネルギーの導入を検討してみませんか。太陽光発電設備のメリットや、お得に設備を購入できる事業を紹介しします。

自家発電で電気代節約も

太陽光パネルは自宅の屋根などに設置し、日常生活に使う電気を自家発電する設備です。発電した電気はそのまま自家消費すれば、電力会社へ支払う電気代の節約になるほか、余った電気は売電することもできます。

環境コラム

あなたの家にも太陽光発電を

さらに、太陽光パネルで発電した電気を貯めておく蓄電池を設置すると、発電できない夜間にも活用可能。災害などで停電したときなどに役立ちます。

市は太陽光・蓄電池に関する補助制度を設けています。この機会に自家発電を検討してみませんか。（記事ID 969、3137）

共同購入でお得に

太陽光パネルや蓄電池を府内全域で共同購入することで設置コストが抑えられる「みんなのおうちに太陽光」事業があります。

購入プランは▽太陽光パネル（10kW未満のみ）▽太陽光パネル（10kW未満）と蓄電池▽蓄電池のみ（太陽光パネルを設置済みの人向け）の3つ。購入希望者の募集は9月5日（火）までです。事業の詳細は「京都みんなのおうちに太陽光」で検索するか、QRコードを読み込んでください。



私たちの心のふるさと、あや水源地の里。その活動を順に紹介しながら、集落の元気のヒミツや日々を楽しく暮らすコツを探ります。

水源の里・清水

特産品づくりで地域を元気に

上林・大町交差点を舞鶴方面へ2きほど進んだ五津台町の集落、清水。平成25年に、住民が安心して暮らせる集落を目指して、水源の里に加盟しました。活動の中心は、産品の加工・販売を通じて、



すみれ会の皆さん

地域のふれあいづくりと水源の里・清水のPR。その活動を担ってきたのが女性グループのすみれ会です。

同会は、地元のイベントで地域の特産品を販売しようと平成7年に女性15人が集まって発足。「地元産のもち米や大豆を使った大福がとて人気です。活動が盛んな時は1日1500個作ったことも。活動は大変だけど、地域の人と交流できて生きがいになっています」と笑います。

近年は高齢化により清水の活動は縮小傾向に。清水の代表、鎌部俊夫さんは「最近2世帯の移住があり住民みんな喜んでいます。これをきっかけに、もっと集落を元気にしたい」と力強く語ります。

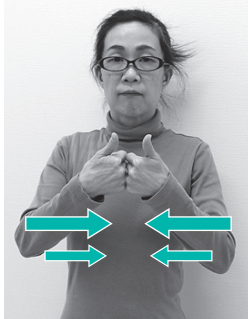


大福をまとめて購入した女性は「子どもたちに送りたい」と笑顔



今月の手話

相談する



両手の親指を立て、左右から他の4指を2回軽く付け合わせる

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

あやべっ子 もぐもぐ 通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を作っています。



6月15日(木)「ご飯の日」

定番の味噌汁と甘辛く煮付けたサバでご飯が進む献立。暑さが増してきたこの日はプール開きがあり、お腹がすいてみんな食欲旺盛でした。

※写真は綾部小学校。各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。

シリーズ 人権を考える

⑮ あいアカデミー第1講座

6月6日に開催した男女共同参画を考える講座「あいアカデミー第1講座」の内容を紹介しします。

「みんなそれぞれただひとり」

性の多様性を受け容れる―

理解してくれる人は必ずいる

講師は大江山鬼そば屋（福知山市）の共同店長、中村麻美さん。写真左と右。姫こと佐々井飛矢文さん。写真右。佐々井さんは心に男女両方の性を持つ性的マイノリティ（少数者）で、中村さんはそんな佐々井さんを理解し受け入れていきます。



「宗教や人種、出身などと同じで、いろんな人があるだけ。目の前の人を大切にしてください」と伝える佐々井さん

と。これは個人情報で、個人の趣味だからです。他人のことを根掘り葉掘り聞くべきではない、という一般論と同じ」と説明。そして、「私は性について悩み始めてから、麻美さんのような人に出会うまで15年かかった。悩んでいる人がいたら『どこかに分かってくれる人がいると信じて生きてほしい』と伝えてください」と、参加者に話しました。

ひとりの個人として話を聞いて

中村さんは、佐々井さんと初めて会ったとき「こういう人もいるんやな」と思い、この人自身に興味を持った」と回顧し、「悩んでいる人がいたら、性的な問題ではなく、人生の悩みと同じだと思って話を聞いてあげてください。特別な人ではありません」と呼び掛けました。